

柔道しずおか

第3号

平成11年1月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒421-2306 静岡市平野1-1 永田重郎
TEL <054>293-2035 FAX <054>293-2335

巻頭言 NEW//わかふじ国体成功にむけて

帰ってくるぞ！静岡国体

静岡県柔道協会副会長 高柳喜一



を中心とした国体指定選手を各道場・クラブ、そして中学校の中から選出してもらい、3地区それぞれの会場を中心に強化練習を積み重ねられるよう、道場連盟・中体連にお願いしている次第である。

柔道の本質は、やはり各選手が個性を生かした技をつくっていく所にあるのではないかと。現実には監督、コーチの命ずるままロボットに近い存在となっていないか。

うれしいことに第53回ゆめ国体・神奈川県横須賀会場において、我が少年男子チームが第4位というすばらしい成績を収めてくれた。選手諸君はもとより、役員、監督のみなさんに深く感謝申し上げる次第である。

国体強化といっても、あくまで一本を取る、正々堂々とした柔道を教えていかなければならないと思う。

今の小・中学生に国体の真の意義を理解させることは、なかなか難しい。少子化社会で甘やかされ、過保護に育てられている子供たちに、この機会こそ、選手としての「一期一会」だとの段階でアドバイスしたらよいか。

今日の社会情勢は厳しいの一言に尽きる。金融不安とデフレ不況の下で、どこの企業もリストラに踏み切らざるを得ず、商いの規模も縮小している。広告宣伝費、福利厚生費等は一番初めにカットされるため、協賛金もなかなか集められず、協会や連盟主催の大会にも影響が出てきている。

「帰ってくるぞ！静岡国体」第58回国民体育大会の開催内定記念大会が静岡市のグランシップにおいて、会場の市町村及び実施競技団体代表によって行われた。そこでは、県民総参加の国体を目指し、準備とPRに積極的に取り組もうと固い決意を誓い合った。

静岡国体については基本設計に入る運びとなっている。今年度は約7万㎡の土地購入費17億9千万円と、物件補償費6千4百万円が、土地取得特別会計として計上された。用地買収を平成11年9月までに完了する必要があるので、用地取得交

渉に向けて11人の職員が政策推進課に派遣されている。体育館は、メイン・フロア約2千㎡・サブ・フロア8百㎡・トレーニング・ルーム・軽運動室・卓球場・会議室等諸室を設け、事業費も約35億円ほどかかるということである。

10月2日には、平成15年の58回国体のテーマとスローガンが決定。テーマは「NEW//わかふじ国体」、スローガンは「がんばる//が好き」となった。

柔道競技会場となる浜北市も、平成14年3月までに新体育館を完成させようと頑張っている。プロポーザル方式による設計業者の選定も決まり、本年度3月10日までは計画書が出来、平成11年度には基本設計に入る運びとなっている。

この静岡国体において本県勢が優秀な成績を収めるよう、県の補助金を財源とした競技力向上対策事業として、ジュニアスポーツクラブ事業に充当するた

めの補助金も計上された。施設の目処もたち、競技力向上補助金も下り、いよいよ一番の課題である選手強化策に取り組むことになるわけである。

まずは小学校高学年、中学生を中心とした国体指定選手を各道場・クラブ、そして中学校の中から選出してもらい、3地区それぞれの会場を中心に強化練習を積み重ねられるよう、道場連盟・中体連にお願いしている次第である。

かつてのようなハングリー精神を叩き込めばよしとする時代は終わっており、思いやり、思慮深さなど、指導者としての姿勢が問われることになるだろう。

静岡県においても平成11年度予算を30%カットという話が出てきたとき、こうした経済環境を弁えての国体対策を考えざるを得ないと思う。

4年という短い期間に、基礎的な運動能力、例えばダッシュ力・ジャンプ力・パワーなどの強化トレーニングを行うとともに、柔道の技の応用力・体捌き等を再教育していかなければならないと思う。

そのためには、協会役員をはじめ、全柔道人の絶大なる理解と協力を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げる次第である。

静岡県柔道協会創立 50 周年記念式典

21世紀へ大きく翔け

平成10年6月6日(土)午後4時より、マリベール静岡を会場に我等静岡県柔道協会はその創立50周年記念式典及び祝賀会を盛會裡に開くことができた。

それに先立って5月3日(日)祝には、草薙体育館において50周年記念第21回静岡県柔道祭を開催。試合に先立って、物故者の慰霊祭をしめやかに行った。

物故者は次のとおり

(東部地区) 敬称略

久保田俊影 工藤勝太郎

高田 貞治 中村 欽一

加藤寿津美 岩山 秀雄

大木 実 青木 健一

神部 政男 久松 岩生

斉藤 忠 田辺 昭治

中村 新吾 渡辺 朗

(中部地区)

太田原政治 佐野 嘉吉

一言 晃 山口 恒

春田 可吉 本多 捷平

栗田 潔 中谷 英昭

土屋 弘司 太田原 操

久保田素弘

(西部地区)

福井 虎吉 疋田 一

鈴木 一郎 山口 國一

三輪 父一 鈴木 修

永田 千一 渡辺富士松

水野 周徳 河合 伸

三浦 勇

記念式典は、来賓に県体育協会会長・県議会議長・県警本部長・全日本柔道連盟副会長を迎え、内外関係者多数の列席のもと華々しく幕を開けることができた。望月映英会長は、式辞において「未曾有の(敗戦)という厳しい試練の時代に、講道館柔道の再生を希っていち早く協会を設立した先人たちの初心を忘れることなく、21世紀へと一段と大きく飛躍する」ことを力強く宣言した。引き続き表彰に

移り感謝状を

静岡朝日テレビ 県柔道整備

師会 静岡新聞社・SBS静岡

放送 総合警備保障 東海大学

東洋水産 中日新聞社

に贈り、長年にわたるご支援、

ご尽力に衷心よりの感謝の意を

表した。

また、本協会役員として尽力

された功労者33名を表彰した。

(特別功労者)

〈八段〉酒井 初雄

〈五段〉及川 直躬

〈三段〉関 孝雄

(功労者)

〈六段〉栗原 孝雄 小林 賢治

梶原 和洋 荒木 和幸

吉村 保男

〈五段〉嶋津 安則 荻島 康功

黒田 高志 阿部 敏明

小柳津敬博 村田 秀吉

伊藤 昭彦 河合 邦明

栗田 徳光 竹下 慶美

金子 厚幸

〈三段〉黒柳 忠義 小関 泰之

〈二段〉杉浦 宗俊





左より 後藤岐阜協会長 望月会長 大矢全柔連副会長 加藤三重協会長

名士および県下柔道人が一堂に
会には200余名にのぼる各界
式典に続き、席を改めて祝賀

〔地区功労者〕
 〈六段〉館山 紀生 松本隆夫
 〈四段〉木村 義記 石部勝三郎
 山本 郁雄 田中 隆
 野口富士雄 伊藤 勇司
 成岡 清司 小宮弘一郎
 藤井 恵司



会し、折しも発行された記念誌
 「翔け柔道しずおか」のページ
 を繰りながら思い出話に花を咲
 かせ和気あいあい、時の移るの
 を忘れるほどの盛会となり、願
 問根来礎夫氏の音頭によって万
 歳三唱を高らかに唱え閉会し
 た。

静岡県柔道協会50周年記念誌
 発行にあたって

溝口紀子

この度は、静岡県柔道協会50
 周年記念誌が発行されたことを
 心よりお祝い申し上げます。

作成に当たっては、永田重郎
 先生が中心となり、わずか1年
 という短い時間でこれだけの膨
 大な資料を整理、編集され、大
 変なご尽力であったと思いま
 す。心よりお礼申し上げます。

本の内容は、静岡県の柔道に
 ついて詳細な記録が綴られてお
 り、記録を積み重ねると歴史に
 なるのだと感心いたしました。
 また、静岡県の柔道発祥から現
 在に至るまでの歴史をたどるこ
 とができ、まさに「温故知新」
 を感じることができました。

2003年には静岡国体が開
 催され、また本県にも新しい歴
 史が刻まれます。大会の成功と
 ともに、今後益々の静岡県柔道
 協会の発展を祈っております。

ジュネーブより
 近藤三広氏

前略 過日は講道館の講習で
 懐かしい貴兄及び滝井・鈴木様
 らにお会いできて何よりの喜び
 でした。私達は生徒一行11名で

講習会の後、鎌倉・箱根・金沢・
 京都・大阪・宮島を観光し、8
 月15日に関西空港を出発、当夜
 無事にスイスに到着しましたの
 で他事ながらご休心下さい。

ジュネーブに戻るとすぐに、
 貴兄及びその他の方々の協力で
 編集された「翔け柔道しずおか」
 が届きました。衷心より御礼申
 上げます。毎日、楽しみに読
 ませていただいております。よ
 くもいろいろな角度から静岡の
 柔道の記録を詳細に記述したも
 のだと感心しております。……
 (後略)



「翔け柔道しずおか」
 訂正

静岡県柔道協会創立50周年記
 念誌「翔け柔道しずおか」発行
 につきましては、物心両面より
 のご支援ご協力ありがとうございました。
 念式典までに完成することがで
 き、購読の方も順調に伸びてお
 ります。

万全を期して推敲・校正を積
 み重ねたつもりですが、短期間
 内の制作であったため3カ所の
 誤りをご教示・ご指摘いただき
 ましたので、ここに深くお詫び
 申し上げます、この誌面を借りて訂
 正いたします。

(1) P303右L25
 (誤)され、秋山勉(静岡商)が初出
 場を果たし……

(2) P373年表30年(1956)
 (誤)第7回全日本東西対抗
 佐藤三広出場

(3) P391広告
 静岡県東部柔道場連盟
 土肥柔道クラブ

追加

— 第53回 神奈川ゆめ国体 —

少年男子準決勝進出

= 発進静岡国体めざして =

ゆめ国体

少年男子準決勝進出!!

第53回国民体育大会柔道競技は、平成10年10月25日より3日間、神奈川県横須賀市総合体育館で開かれた。

本県は少年男子・成年男子2チームが出場、成年男子は、強豪京都と1回戦で当たり健闘するも及ばず0対2で無念の涙を飲んだ。一方、少年チームは、着実に勝ち進み準決勝進出となり、4位という貴重な戦績を上げることができた。

少年男子1回戦

埼玉 0—2 静岡
 (先鋒) 関口知二 × 林良晃
 (次鋒) 井上大介 × 荻野太路
 (中堅) 小川裕之 △大腰 ○小椋俊彦
 (副将) 関口 勲 △腕挫 ○望月直也
 (大将) 村越健太 × 斉藤和仁
 <2回戦>

静岡 2—1 愛媛

先鋒 △体落 ○ 横田大二郎
 次 荻野 × 石村大祐
 中小椋 × 河野大翼
 副 望月 ○大外刈 △ 清家仁宏
 大 斉藤 ○崩裂袈固 △ 重松裕二

<準々決勝>

秋田 2—3 静岡

先 高橋寿正 ○肩車 △ 林
 次 松井芳則 △袖釣込腰 ○ 荻野
 中 三浦 陽 △大腰 ○ 小椋

副 川口雄介 ○払腰 △ 望月
 大 工藤勝人 △合せ技 ○ 斉藤
 <準決勝>

福岡 ①—1 静岡

先 明石一成 ○縦四方固 △ 林
 次 荒平佳也 × 荻野
 中 永野裕士 × 小椋
 副 原田泰経 △大外刈 ○ 望月
 大 森田祥一 × 斉藤
 <3位決定戦>

静岡 0—2 神奈川

先 林 △注意 ○ 佐藤裕次
 次 荻野 × 高松正裕
 中小椋 × 小野俊教
 副 望月 △三角絞 ○ 谷口 望
 大 斉藤 × 月野尚志
 <成年男子1回戦>

静岡 0—2 京都

先 渡部直樹 × 高橋祥三
 次 花沢裕介 × 渡辺正喜
 中 大村恭一 × 藤原康博
 副 井口往彦 △合せ技 ○ 西村 崇
 大 小野寺剛志 △払巻込 ○ 流 秀人

なお、第四位入賞を果たした静岡県少年男子チームの監督選手に、県柔道協会は、賞状と記念品を、県民スポーツ祭開会式において贈った。

監督 野田昭一(静岡高教員)
 選手 斎藤和仁(静岡学園高)
 望月直也(富士宮北高)
 小椋俊彦(静岡学園高)
 正治大輔()

国体に出場して その①
 課題が見つかった
 小椋俊彦

私は、この国体が高校生活最後の全国大会と思い、日々精進し試合に臨んだ。

一回戦は埼玉県に二対〇、二回戦は愛媛県に二対一、準々決勝は、秋田県に三対二で勝ち進んだ。決勝をかけた福岡との準決勝は、一対一の内容で負けてしまった。そして、三位決定戦でも、地元神奈川と対戦し、残念ながら二対〇で負けてしまい四位になった。

私が、試合を振り返り一番に感じた事は、福岡との対戦の時に、私が勝てばチームは勝てたと言うのに、相手からポイントを取りきれなかった事だ。それは、私にはまだまだポイントを取れる技、それにまけない精神力がなかったために、そのような結果となった。私は、この事が一番悔しかった。だが、

皆には申分けなかったが、自分自身としては、

弱い部分が改めて解り、これから克服せねばならない課題となるので良いと思っている。



静岡県選手団入場





熱 戦 譜



創立50周年記念

第40回静岡県柔道祭

(小学校の部)

1位 神土館 2位 心技館

3位 浜松養神館

3位 積武館

(中学校の部)

1位 東海大一中

2位 沼津三中

3位 浜北北都中

3位 北浜東都中

(高校の部)

1位 静岡学園

2位 沼津学園

3位 浜松工 3位 東海大

〈一般の部〉

1位 総合警備保障

2位 富士市柔道会

3位 静岡南部体育館

〈中学校女子個人の部〉

(48kg級)

1位 今井 夕貴(神土館)

2位 宮沢 智美(錦田中)

3位 後藤 泰子(錦田中)

(52kg級)

1位 横山 綾(竜爪中)

2位 二俣 啓子(錦田中)

3位 藤田くみ子(鷺津中)

3位 大畑 緒香(北山中)

(56kg級)

1位 吉田真由美(浜松北部)

2位 鈴木 紀依(浜松北部)

3位 望月 希(愛鷹)

3位 海野 友美(藤枝柔俱)

(56kg超級)

1位 杉山まゆみ(藤枝柔俱)

2位 今井 愛(浮島)

3位 中嶋三沙子(長岡)

(優秀選手)

小学生 新村智弘(神土館)

中学生 清水雄二(心技館)

中学生 青木真也(東海大)

増田圭省(沼津三)
小椋俊彦(静岡学園)
荻野太路(沼津学園)
井川清隆(総合警備)
酒井裕幸(富士市柔会)

第47回全国青年大会

平成10年11月7・8日、講道館で第47回全国青年大会柔道競技が清子内親王をお迎えして行われた。本県よりは浜松市・浜松柔道研究会(養神館・育成館・積武館・総合警備保障)の連合チーム)が出場、みごと決勝進出、優勝の東京チームに同点内容負けながら、準優勝を果たした。

〈予選リーグ〉

静岡	3	1	神奈川
樋口	正	△	小野田
新村	寛	△	海野
加藤	剛	×	松永
古橋	学	○内	股△植野
杉山	崇	△縦四方	○門馬
静岡	5	0	宮城
樋口	○	巴	投△春日
新村	○	払	腰△伊東
加藤	○	背負	投△堀内
古橋	○	内	股△千葉
杉山	○	払	腰△須藤
〈決勝トーナメント〉			
静岡	2	2	佐賀
樋口	×	×	三宮

新村 ○関節技△大山
加藤 △背負投○井上
古橋 △内股透○平山
杉山 ○内股△今村
代表戦
樋口 ○判定 三宮

(準決勝)

静岡 2 | 0 北海道
樋口 × 宇宿
新村 ○朽木倒△坂本
加藤 × 大久保
古橋 両者反則 吉田
杉山 ○縦四方△大久保
(決勝戦)
静岡 2 | ② 東京
樋口 × 園田
新村 △掬 投○甲斐
加藤 ○技有り△伊藤
古橋 ○技有り 川村
杉山 ○注 意○若松
(東京の内容勝ち)

(個人戦)
副将の部 古橋 学 優勝
団体戦は先鋒が68kg以上、次鋒中堅が75kg以下、副将・大将が無差別と決められ、団体戦にエントリーした選手が個人戦にも出場できる。年齢制限や、社会人であることなどの参加資格があるが、国際試合はもろろん国内の主要試合に出場したことがある選手は参加できないのが

大きな特徴である。大会参加も二度までと決められている。
県民スポーツ祭

第52回静岡県民スポーツ祭柔道競技大会は、11月15日(日)沼津市民体育館で行われた。
市対抗では

1位	藤枝市	10点
2位	静岡市	8点
3位	浜北市	7点
町村対抗では		
1位	韮山町	10点
2位	大井川町	8点
3位	福田町	7点
試合結果は次の通り		
(成年の部・市対抗)		
1位	焼津誠道館	2位 総合警備
3位	浜北市柔協	3位 藤枝柔俱
(成年の部・町村対抗)		
1位	菊地建設(大仁)	
2位	相良町体協	
3位	引佐士道会	3位 新居体協
(少年A男子市対抗)		
1位	静岡学園	2位 東海大一中
3位	浜松江之島高	
(少年A男子町村対抗)		
1位	小山高	2位 大井川高
3位	土肥高	3位 長泉高
(少年A女子市対抗)		
1位	東海大一中	2位 焼津高
3位	常葉橋高	3位 浜北西高

(少年A女子町村对抗)

- 1位 庵原高 2位 葦山高
- 3位 大井川高

(少年B男子市对抗)

- 1位 原中 2位 静岡学園中
- 3位 浜名中 3位 大富中

(少年B男子町村对抗)

- 1位 大井川中 2位 浜岡中
- 3位 葦山中 3位 三ヶ日中

(少年B女子市对抗)

- 1位 藤枝柔俱 2位 浜北柔スポ少
- 3位 高台中 3位 北山中

(少年B女子町村对抗)

- 1位 福田柔ク 2位 葦山中
- 3位 大仁中 3位 細江中

(少年C市对抗)

- 1位 神士館 2位 藤柔俱
- 3位 焼津誠道館
- 3位 清水柔専塾

(少年C町村对抗)

- 1位 新居町 2位 福田町
- 3位 引佐町 3位 大東町

三地区对抗団体柔道大会

平成10年度・静岡国体柔道競技会場招致記念三地区对抗は、H10年11月22日(日)に浜北市民体育館において、県柔協・浜北市体育協会・浜北ライオンズクラブ主催、浜北市柔道協会主催で行われた。

総合優勝 中部地区

- 2位 西部

3位 東部

(高校男子)

東部0-4中部

先小原真一△ 山下悟史

次植松照且× 日下徹朗

中石川貴志△ 高橋哲史

副鈴木智之△ 柿元謙也

大北山昭二△ 中村和幸

中部2-1西部

山下(静学)× 山崎敬

日下(東工)× 若泉正宏

高橋(明誠)△ 山崎大介

柿元(東一)△ 吉田智一

中村(静北)△ 渡辺力之

東部1-2西部

小原(市沼津)△ 山崎(浜商)

植松(〃)× 若泉(浜工)

石川(富士高北)× 山崎(浜商)

鈴木(三島商)△ 吉田(天竜林)

北山(〃)△ 渡辺(江之島)

(高校女子)

東部2-0中部

風間美佳× 望月加奈子

今井 涉△ 松本由見

金子 綾△ 佐野美樹

中部2-0西部

望月(橋)△ 藤谷麻子

松本(藤南)× 伊熊通恵

佐野(焼津)△ 中村真理

東部3-0西部

風間(市沼津)△ 藤谷(浜西)

今井(〃)△ 伊熊(天林)

金子(〃)△ 中村(〃)

(中学男子)

東部4-0中部

岡 光成× 中村一智

下田祐也△ 板垣耕太

河野文彦△ 望月 心

加藤貴行△ 森 明洋

高田幸治△ 向田佑紀

中部2-3西部

中村(美和)△ 川島靖史

板垣(静学)△ 渡辺孝之

望月(服織)△ 中道祐典

森(高松)△ 土屋彰裕

向田(籠上)△ 小出敏己

東部2-2西部

岡(原)△ 川島(福岡)

下田(〃)× 渡辺(福岡)

河野(〃)△ 渡辺(福岡)

加藤(葦山)△ 土屋(湖西)

高田(岩松)△ 小出(浜北)

(中学女子)

東部3-1中部

植松智頭△ 渚晃 舞

若尾真希× 鈴木方有美

竹村佳那子△ 弥次金ゆかり

池田牧子△ 大畑侑加

坂倉香菜美△ 関口玲加

中部1-3西部

渚晃(服織)△ 岩谷巳海

鈴木(美和)△ 村松香澄

弥次金(観山)△ 永手直美

大畑(長西)△ 前原ケリ

関口(美和)△ 磯部育実

東部1-3西部

植松(北山)△ 岩谷(浜北)

若尾(原)△ 村松(北浜)

竹村(大仁)△ 永手(福田)

池田(吉原)× 前原(〃)

坂倉(静浦)△ 磯部(鹿玉)

なお、平成11年度より行われる「静岡新聞社・SBS静岡放送スポーツ振興助成制度」は、柔道競技については、本大会に活用されることが内定している。

第13回全日本視覚障害者柔道大会

(勸)日本身体障害者スポーツ協会、日本視覚障害者柔道連盟・社会福祉法人・日本盲人会連合・全柔連の主催のもと講道館にて平成10年11月22日(日)に行われた。

都道府県對抗戦に出場した静岡県チームは、一回戦、岐阜を3対0に降し、準決勝で東京に2対1で勝ち、決勝に進出、徳島県に3対0で敗れたものの準優勝を勝ち取った。選手は、鈴木利明・平井満治・水野裕章。

個人戦でも、66kg級学生の部で鈴木利明が優勝、同級一般の部で、水野裕章が2位、同級優勝決定で鈴木が2位と好成績を収めることができた。

全国女子柔道体重別選手権大会

平成10年11月15日、日本武道館で開催、本県関係次の通り

〈57kg級〉 沼野由香利●-△ 清水亜紀子 (1回戦) (城西女短大)

〈2回戦〉 沼野 沼野 沼野 △-● 武田淳子 (沼野)

(敗者復活戦1回戦) 沼野 沼野 ○横四方△ 能村さくら (高岡法科大)

(沼野) 沼野 △横四方△ 立野千代里 (ミキハウス)

(1回戦) 石谷里美 △-● 東城ミナ (大阪府警)

〈63kg級〉 (2回戦) 岩藤理恵 △横四方△ 新改七星 (夙川学院高)

(敗者復活1回戦) 岩藤 △-● 岩田千絵 (淑徳高)

〈70kg級〉 (2回戦) 舛田拡美 △大外刈△ 横垣千絵子 (78kg級・2回戦) (湊川女子短大)

佐々木由佳△-○ 金子夏記 (拓大)



〈78 kg超級〉
 (1回戦)
 上杉優海 △ー○ 山下まゆみ
 (大阪府警)
 第10回マルちゃん杯
 中部少年柔道大会
 平成10年6月14日(日)に浜松市
 体育館で県柔協・東洋水産主催
 のもとに開かれた。
 本県勢は大活躍。

小学生の部では、神士館神山
 道場が優勝、中学生の部でも、
 東海大一中が準優勝を遂げた。
 最優秀選手 土田将正(神士館)
 優秀選手 平井 希(〃)
 岸本洋幸(東海一)
 青木真也(〃)
 敢闘選手(佐藤五八郎杯)
 木村一城(東海一)

国体に出場して その②
 又、静岡国体でそろって出場を

齊藤和仁

僕は三年目にして初めて国体
 に出場しました。国体は、高校
 生活の全国大会で最後の大会な
 のでこの三年間やってきたこと
 を全て出しつくすのが試合前の
 目標でした。

が、試合が始まってみると最
 後の試合に対するプレッシャー
 か、会場の雰囲気飲み込まれ
 ているのかわからないが、いつ
 になく体の動きが悪く初戦は相
 手の思うがままに試合を進めら
 れ引き分けに終わりました。し
 かしその後は、誰かがポイント
 を取られたら誰かが取り返すと
 という粘りと最高のチームワーク
 で三十年ぶりのベスト4へ進出
 することが出来ました。三位決
 定戦では神奈川に負けはしたも
 のの自分の今までのベスト16と
 いう成績を大幅に更新したもの
 となった。

高校生活最後の全国での大舞

台、このようなすばらしい結果
 を残せたことは、今まで御指導
 をいただいた野田先生をはじめ
 とする県内の各先生、普段から
 影で支えて下さった父兄の方々
 の贈ものだと思っています。そ
 して数々の全国大会を通じて多
 くの友達が出来ました。そう
 いった多くの友達を大学へ行っ

てからも大切にしていきたいと
 思います。最後にこの静岡県少
 年男子のチームメイトとはこれ
 から共に日々努力し平成十五
 年の静岡国体ではそろって出場

ができたらいいなと思ってい
 ます。

〈訃報〉

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

(東部地区)

奥村光夫 七段 平成10年12月11日逝去

顧問・元副会長 東部地区幹事長
 昭和28年・34年国体出場



34年県段別選手権五段以上の部優勝
 39年全国鉄大会四段以上の部優勝
 62年国体柔道総監督

古川 茂 六段 平成10年11月15日逝去

参与・東部地区中体連柔道部長としてそ
 の発展の基礎を築いた。

久保正太郎 六段 平成10年11月15日逝去

幹事、友愛道場を開き、正しい柔道を教
 え、佐々木光選手らを育成した。

(中部地区)

寺本健次郎 六段 平成10年8月18日逝去

顧問 静岡柔道倶楽部会長
 静岡市柔道連盟会長として地域柔道の
 発展に貢献した。

於 静岡市北部体育館

山下泰裕

わんぱく柔道教室

— 井上康生選手の胸を借りて —

平成10年7月4日(出)14時30分より静岡市北部体育館第一アリーナにおいて「山下泰裕わんぱく柔道教室」が開かれた。これは、丸大食品株式会社と東海大学の御好意により実現したもので、静岡県柔道協会が主催・静岡市柔道連盟が主管という形で行われた。

休日でない土曜日の午後という制約にもかかわらず、県下各地より小学校4年生以上、中学3年生までの少年少女柔道選手が700名を超えて参加、大いに盛り上がった柔道教室となった。

〈第一部〉講演の部

講師 山下泰裕先生
演題 柔道を通して学んだこと！



〈第二部〉技術指導の部
講師 山下・中西英敏先生及び 岩川武久・井上康生らによる得意技の披露・説明・指導
〈第三部〉乱取指導
が行われた。

なんとといっても、だれ知らぬ者のない山下先生の体験に裏打ちされた感動的な、しかも親しみを込めた、わかりやすいスピーチには、わんぱくたちも目を輝かせて聴き入っていた。

二部では、今や日本の柔道選手として最も注目を集めている井上康生選手が登場、その華麗な内股や大外刈などを披露、思わず揚がる歓声や拍手が鳴りやまなかった。

第三部では、十分な時間とはれなかつたにせよ、名選手のところを借りて、体当たりでぶ



つかつていくチビッコ選手の元気いっぱい姿が印象的であった。
少子化・武道離れといった世相の中で柔道人口激減をいたずらに嘆いていても始まらない。こうした好企画が、明日の柔道界を背負う少年少女たちに大きな希望を与えることを実証してくれたイベントとなったと思う。

指導する山下先生



事務局だより

☆協会役員名簿の必要な方は事務局まで御連絡下さい。

☆公認審判員用のネクタイが変わります。4月1日から新ネクタイ着用となります。価格2,500円。取り扱いは、各地区事務所です。

☆国際柔道連盟試合審判規定が一部改正となりました。1月1日から実施となります。新規定(ルールブック)は近以内に販売の予定です。

☆各種大会の申し込み期日を厳守してください。
〈10年度後期行事予定〉

1月17日(日) 審幹会・各地区

23・24(出)全国高校選手権男女
女県予選(静岡北部体育館)

31(日)全日本選手権男女県予選(藤枝市武道館)

2月7(日) 審幹会・各地区
21(日) 表彰委員会・理事・評議員・第二審議員会

3月7日(日)全日本選手権東海予選・月次試合・各地区

20(出)全国高校選手権男女個人(東京武道館)

21(日) 同団体(男子) (日本武道館)

全国少年大会県予選会・県高段者大会(藤枝市武道館)

28(日)全国中学生柔道大会(東京武道館)